



【ご案内】

本ソフトウェアでは、入力モードとして、「ローマ字入力」「携帯入力」「英字入力」の動作を含んでいますが、本製品「KKBOX55S」では、「ローマ字入力」と「英字入力」をサポートしています。ここではこの2方式について説明します。

全ての梱包を解いて最初にご確認下さい。

セ ツ ト 内 容	テンキーマウス NT-MA1 (サンワサプライ製)・・・1式 簡単キー55 サポートCD-ROM・・・1枚 簡単キー55 スタートガイド・・・・・・・・・・1冊 キートップラベル見本・・・・・・・・・・4枚
-----------------------	--

付属のキートップラベルを貼ったところ

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は上記販売店のHPに
 掲示しています。

DigiTech はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

DigiTech 動作環境

対応機種・OS：

Windows搭載(DOS/V)パソコン Windows10, 8.1, 7, Vista, XP (SP1以降)

DigiTech 本製品の特長

- 文字/数字/記号/機能の入力切り替えがキー入力あるいは、マウスで簡単にできます。
- 規則的な覚えやすい15キーの文字キー配列です。
- パソコンと同じようにローマ字入力ができます。(ローマ字入力モード)
- 携帯電話と同じように仮名入力ができます。(携帯入力モード)
- パソコン画面にわかりやすい入力ガイドを表示できます。
- ガイド画面を見て、パソコンの全てのキー機能が入力できます。

ガイド画面をテンキーマウスでクリックすると、キー機能が入力できます。
カスタムモードでは、キー設定をカスタマイズすることができます。
必要に応じて、キー入力に対応する音声出力での入力確認をすることができます。

本製品に付属していますサンワサプライ株式会社の「テンキーマウス NT-MA1 取扱説明書」の「取扱上のご注意」もご一読下さい。

DigiTech 接続の手順

コンピュータの電源を入れます。Windows 等のOSが完全に起動してから、本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。本製品をコンピュータのUSBポートに接続すると自動的に認識されます。(Windowsの場合) タスクトレイ(デスクトップの右下)に接続完了のメッセージが表示されます。以上で接続完了です。

DigiTech ソフトウェアのインストールと使用までの準備

本製品では、専用のプログラムをインストールして使用します。プログラムのインストールを始める前に次の事項をご確認下さい。

パソコンのOSが本製品がサポートする種類、Versionであるか確認して下さい。

プログラムをインストールするCD-ROMドライブがあること。無い場合は一時的にUSB端子から接続して使える外付けのCDドライブを用意して下さい。

インストールは「管理者権限モード」で行う必要があります。

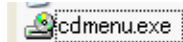
インストールの手順

OSが正しく立上っていることを確認して下さい。他の作業をしている場合は一旦そのプログラムを停止させて下さい。

CDドライブに添付のプログラムCDを挿入して下さい。

CDが読取られ、インストール画面が立ち上がります。

自動的にインストールのメニューが立ち上がらない時は、エクスプローラでCD-ROM内のファイル

 をクリックして下さい。

インストール開始前に


インストールメニュー画面に、「利用規約」が表示されています。ご確認ください操作を開始して下さい。インストール開始と同時にお客様はこの「利用規約」を承諾したものとみなします。



メニューから「簡単キー55ソフトをインストール」をクリックする。


画面の案内する手順に沿って操作して下さい。プログラムは自動的にインストールされます。

「音声応答ソフト(Dtech Talker)」を使用する場合は起動させて下さい(任意)

タスクトレイにアイコン  が表示されます。

続いて、各種説明書等を必要により参照・印刷して下さい。

インストールが終わったらCD-ROMを取り出して下さい。

パソコンを再起動して下さい。待受け画面に「簡単キー55のアイコン」  が出来ています。

これでインストールが完了しました。簡単キーを使う時は、このスタートアイコンをクリックして下さい。

ライセンスキーの登録

始めて「簡単キー55」のソフトウェアを起動した時にライセンスキーの登録画面が表示されます。この時、印刷されて添付された「簡単キー55スタートガイド」に記載されている「ライセンスキー（半角英数字）」を入力して登録して下さい。

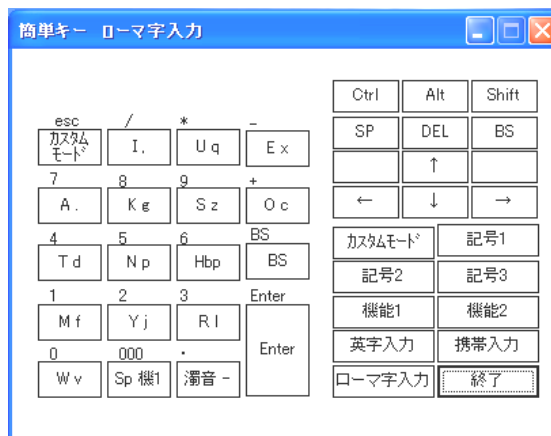
簡単キー55の動作開始

正常に認証されると「簡単キー55」がスタートし、キーマップの画面が立上がりります。この画面で表示されるキーをマウスでクリックしても、簡単キーでボタンを押したのと同じ動作で入力することができます。表示が不要の時は、「最小化」ボタンを押しておいて下さい。

キーマップ

マウスで画面上のキーをクリックしても、キーを押したと同じ入力が出ます。

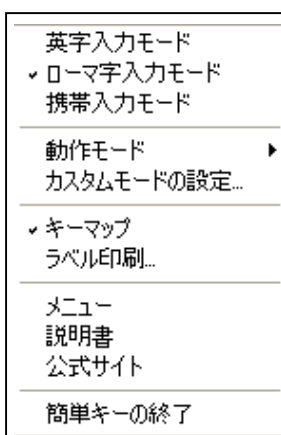
もし、キーマップが表示されない場合は、下記のアイコン「R」「K」「E」のいずれかを右クリックして表示されるメニューの中の「キーマップ」をクリックすると表示されます。（下図参照）



簡単キーが立上がると、右下のタスクトレイ（タスクバー通知領域）に **R** **K** **E** のいずれかの表示がされます。（Windows OSのVersionによって多少形は違うかも知れません。）これは簡単キー55の入力モードを示しています。初期値は「ローマ字入力モードです。」

- R** : ローマ字入力モード 日本語をローマ字入力で入力します。標準はこのモードです。（推奨）
- K** : 携帯入力モード テンキーを使って携帯電話と同じ要領で入力します。（説明省略）
このモードをお使いになる場合には別途「携帯入力手順書」を参照して下さい。（オプション）
- E** : 英字入力モード 英字のみを入力するモード

タスクトレイのこのアイコンを右クリックすると、下記の操作メニュー表示が出ます。ここでも、「入力モード」や「動作モード」を選択できます。デフォルトの動作モードは本プログラムでは「簡単キー55S」です。



入力動作モードを選択できます。 ローマ字入力モードが推奨

動作モードは「簡単キー55S」を選択（初期値）

キーマップを表示するにチェック 不要時ははチェックを外す。

簡単キーを終了する時。

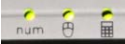
パソコンの入力環境の設定をチェックしましょう。

パソコンの入力モードは、入力のプロパティ 入力設定 ローマ字入力 を選択して下さい。

パソコンの入力IMEトレイの入力は「ひらがな」を選択しておきます。（入力の文字により適宜「直接入力」等を選択します。）

必要により、添付のキートップラベルを切取り、キートップに貼って下さい。

キーボードの設定

キーボードに表示されるランプは下図の様に3灯共に点灯する状態にして下さい。
設定は、「NumLock」キーと、キーボード左側面にある「Mode Switch」ボタンを押して行います。

これで「簡単キー」を使う準備が完了しました。

DigiTech マウス付片手キーボードのキー配置と入力操作



付属のキートップラベルを貼った状態

キートップの表示の見方

A：赤字のキー（基本文字）

そのキーの1打で入力できる基本文字で、日本語の母音と基本子音。

G：日本語の濁音の子音

そのキーを2度押すと「濁音（が、ざ、だ、ば等）」の子音部になる。
(2度押しは濁音へ)


F：2度押し入力

そのキーを2度押しで入力できる英字を示す。(日本語では希少出現文字)

. Q：ピリオド+打鍵で入力

ピリオド(.)を押して、続いてそのキーの打鍵で入力出来る事を示す。

< **=** **'**：特殊キーで入力

(特殊キー)
 特殊キーを押した後で更に「ピリオド」を1~3回押して、続いてそのキーを打鍵して入力出来る事を示す(記号等の入力)

※この説明書では、当商品の推奨使用モード「ローマ字入力モード」についてのみ説明します。「携帯入力」モードで使用される場合は別途「携帯入力モードの文字入力」(オプション)を参照して下さい。

1. 使い方の基本ルール F10

本システムの「ローマ字入力」モードの基本的な動作は次の様になっています。

日本語入力

AIUEO KSTNHMYRW (あいうえお かさたなはまやらわ行の子音部) はそのまま 1 キー入力できます。

濁音の入力

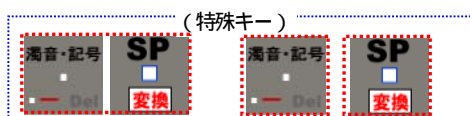
G Z D B (が ざ だ ば行の子音部) は当該キーを 2 度押しして **G Z D B**

その他の子音・アルファベットの入力

F J L V のアルファベットは当該キーを 2 度押しして入力します **F J L V**

C F L P Q X のアルファベットは、「**ピリオド (.)**」の後に当該キーを押します。 C . F . L . P . Q . X

【特殊機能キー】について (重要)



本システムでは、「**ピリオド (.)**」キーに続けて「**スペース (SP)**」キーを押すと、キーボードの文字種の切替や、機能の有効化をするキーとして働きます。「**ピリオド (.)**」+「**スペース (SP)**」に続いて更に「**ピリオド (.)**」を押すと記号の入力、「**ピリオド (.)**」+「**スペース (SP)**」に続いて更に「**スペース (SP)**」を押すとカーソルキー、機能キーや数値キーを有効にします。これらキーを「**特殊キー**」と呼び以下にその使い方を述べます。又、「**スペース (SP)**」は変換機能を兼ねています。(ここで特殊キーとは、本来の文字入力やキーボード一般に定義された機能以外の働きをするキーを云う)

記号の入力

記号キーに切り替えるには、「**ピリオド (.)**」+「**スペース (SP)**」を押します。記号は 3 ステージに分かれていて、続いて「**ピリオド (.)**」キーを押して切替えることができます。

- ・ . (特殊キー+ピリオド 1 回) / * > ' ¥ @ ; : 「」等の入力へ
- ・ .. (特殊キー+ピリオド 2 回) = ~ | _ ^ { , } ? 等の入力へ
- ・ ... (特殊キー+ピリオド 3 回) ' () & % & ! “ # > 等の入力へ


数字キー

- ・ (特殊キー)  **数字 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 が有効**

この操作では、一文字入力すると入力モードはローマ字入力(文字入力)に戻ってしまいます。連続して数値を入力する場合は、「数字、数字記号の入力方法」で記載する方法によって下さい。

ファンクションキー(F7 F8 F9 F10 等)の利用

- ・ (特殊キー+スペースキー 1 回) **F 7 F 8 F 9 F 10 が有効**

「**ピリオド (.)**」+「**スペース (SP)**」 に続いて更に**スペース キー (SP)** を 1 回押すとファンクションキーが有効になります、

- F 7 : ひらかな カタカナ変換に使用
- F 8 : 半角変換に使用
- F 9 : 全角変換に使用
- F 10 : 大文字、小文字変換に使用

機能キー（カーソルキー、BS, Del End Home 等）の使用

- ・ (特殊キー+スペース2回) **カーソルキー**(, , ,)BS, Del End Home 等
機能キーを使うには、「ピリオド(.)+「スペース(SP)」に続いて、更に「スペース (SP)」キーを2回押すことで有効になります。又は、「Num Lock」キーを押しても有効になります。

【注】特殊機能キーで設定した動作モードは、一度文字入力が完了すると元の状態(文字入力状態)に戻ります。

DigiTech 日本語入力操作の方法

実際のアプリケーション（例えばメールなど）の日本語入力モードに入ります。
IMEの入力モードは「ローマ字かな入力」、「ひらかな」にセットしておきます。
文字毎の入力手順は別紙「KKBOX55Sの文字入力のキー操作」を参照して下さい。

ここでは簡単な日本語入力の事例について、練習してみましょう。

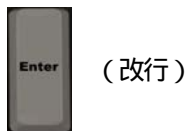
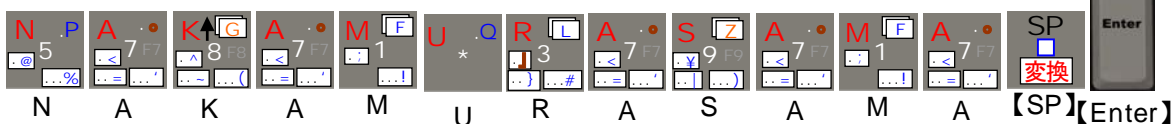
入力文の事例

中村様
おはようございます。
最近新しい「マウス付片手キーボード(KKBOX55S)」なるものを、手に入れました。

この文例について、簡単キーで入力するキーの手順を追ってみましょう。

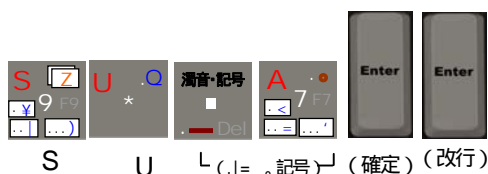
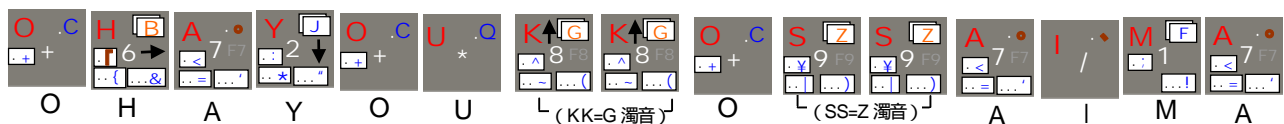
マウスで記入したい文書面の位置にカーソルを置きます。

中村様を入力します。



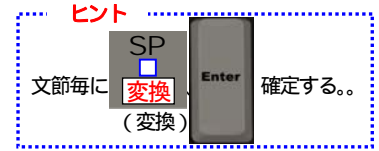
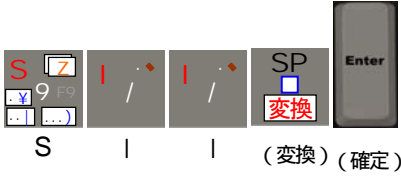
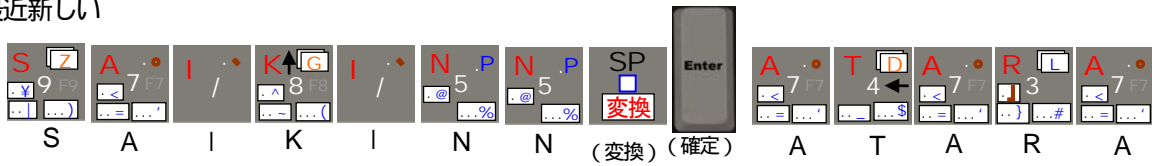
おはようございます。

ヒント
パソコンの画面に表示される「キーマップ」のボタンをクリックしても同じ動作をするので、ボタン操作が複雑な時はキーマップをクリックした方が楽。適宜使い分けて下さい。

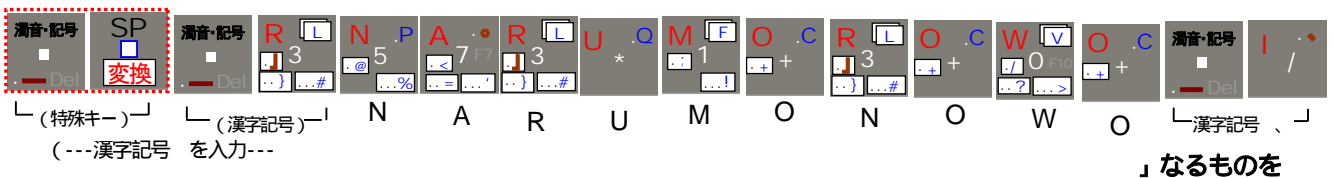
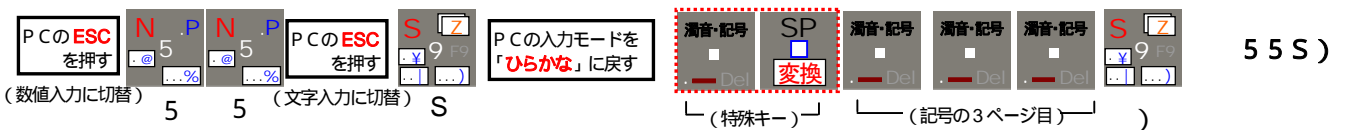
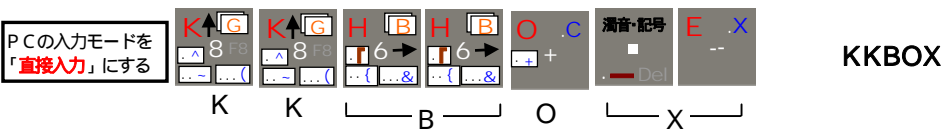
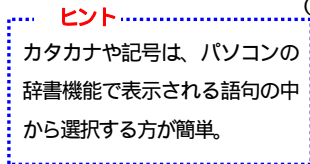
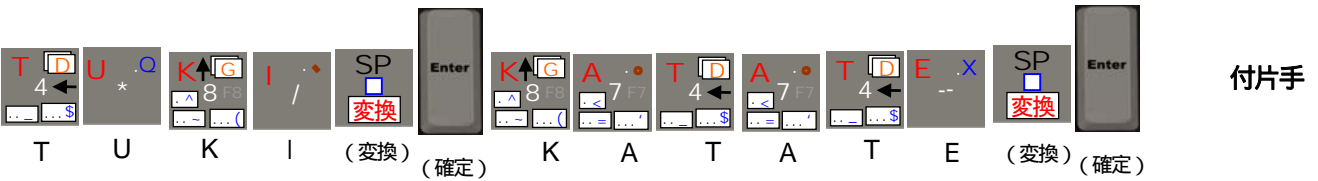
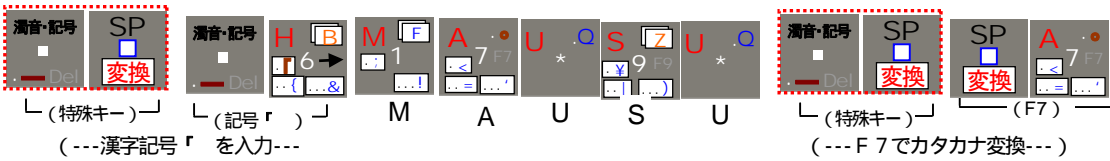


ヒント
日本語の「濁音(が、ざ、だ、ば行)」は子音部キー(K,S,T,H)の**2度押し**で(G,Z,D,B)が出る。

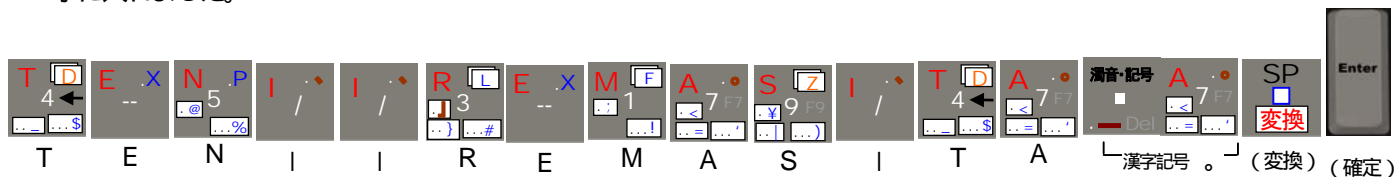
最近新しい



「マウス付片手キーボード (KKBOX55S)」なるものを、



手に入れました。



まとめ

- (1)濁音は2度打ち(が ざ だ ば行)
- (2)文節毎に変換 (=SP) 確定 (Enter) する。
- (3)カタカナは、特殊キー(ピリオド+SP) + SP + SP + A(=7) 「 = F7」で変換する。
- (4)アルファベットはPCを「直接入力」にする。
- (5)数値は、PCの「Esc」キーを押して切替る。日本語に戻る時も「Esc」キーを押す。
- (6)漢字記号(、。 「 」 - (長音) ・(中点))は特殊キーから

文字毎の詳細い入力キー操作は、別紙「KKBOX55Sの文字入力のキー操作」を参照して下さい。
よく使う単語や文章列はOSの辞書機能で登録して利用することをお勧めします。
(例) 「よろしくお願ひ致します。」を「よ」で辞書登録しておく。

DigiTech 数字、数字記号の入力操作の方法

IMEの入力モードを「直接入力(半角英数字)」にセットします。

PCの「Esc」キーを押すと、数値、数値記号(* / . + -等)の入力できます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 000 / * - + .(ピリオド) ,(コンマ)

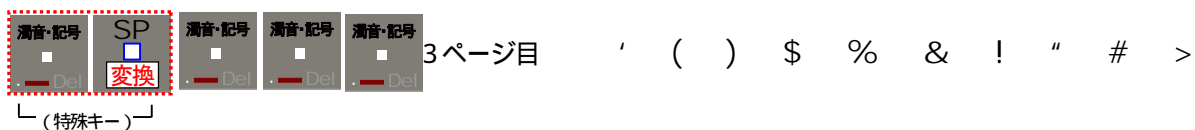
文字入力に戻る場合もPCの「Esc」キーを押し、IMEの入力モードを「ひらかな」にします。

DigiTech カーソルキー、機能キー(BS,DEL,Ins)の操作方法

上記「数字モード」の状態ですら「Num Lock」キーを押すと、カーソルキー、機能キー(BS, Del, Ins, Home, End, PgUp, PgDn等)が有効になります。

DigiTech 半角記号、その他の特殊文字の入力操作方法

半角記号は、3ページに渡り各キーに割り付けられています。入力には特殊キーに続いてページ切替キー「ピリオド」を必要回押しして、その後目的のキーを押して入力します。



文字毎の詳細い入力キー操作は、別紙「KKBOX55Sの文字入力のキー操作」を参照して下さい。

DigiTech 簡単キー55 ソフトの終了

簡単キーソフトを終了するには、「キーマップ」の「終了」又は、タスクトレイの中の「R」「K」「E」いずれかのアイコンを右クリックして表示される「簡単キーの終了」をクリックして下さい。続いて表示される「簡単キーの終了 よろしいですか?」の確認の「はい」をクリックして下さい。これで動作を終了します。

DigiTech 簡単キー55 ソフトのアンインストール

簡単キーソフトをアンインストールする場合は、Windows のコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行って下さい。

DigiTech 保証規定

1. キーボード本体の保証については、別紙サンワサプライ株式会社の「テンキーマウス NT-MA1」の包装箱の記載をお読み下さい。



2016.10 現在

開発元：デジタル技研

所在地 〒643-0007 和歌山県有田郡湯浅町吉川718
電 話 0737-23-7172
メール info@d-tech.jp
H P <http://www.d-tech.jp>
代表者 北村 拓郎

販売取次ぎ店：NPO法人PICO

所在地 〒470-0114 愛知県日進市南ヶ丘1-9-6
電 話 0561-72-1925
メール info2@npo-pico.com
H P <http://www.npo-pico.com>